

令和8年度入学生用カリキュラムマップ

【薬学研究科 薬科学専攻 修士課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	専攻（課程別）ディプロマ・ポリシーの分類（項目）							
					◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 多様な社会を理解する力	2. “生きながらえること”につながる専門性	3. 自他を尊重する姿勢	4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢	5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6. 論理的に考え伝える力	7. 新たな価値を創造する力	8. 多様な人々と協働する力
					知識		姿勢		行動			
		1	2	3	4	5	6	7	8			
26MHBS1101	研究指導Ⅰ	1	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、修士論文として発表することができる。	◎	◎		○	○	◎	○	○
26MHBS1102	研究指導Ⅱ	1	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、修士論文として発表することができる。	◎	◎		○	○	◎	○	○
26MHBS2101	研究指導Ⅲ	2	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、修士論文として発表することができる。	◎	◎		○	○	◎	○	○
26MHBS2102	研究指導Ⅳ	2	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、決定した研究課題について、目的を達成する上で最も適切な実験・評価方法を応用して積極的に実験・調査に取り組み、その結果を分析し結論を導くとともに、その内容を発表し、質疑応答に対応できる能力を修得することを目的とする。	1) 研究課題の新規性、独自性、科学的意義を調査し、研究課題について、俯瞰的・多面的視点から取り組むことができる。 2) 研究課題について、研究成果をまとめ、修士論文として発表することができる。	◎	◎		○	○	◎	○	○
26MHBS1103	薬科学論文作成実験Ⅰ	1	文献調査および指導教員と相談の上決定した研究課題について、目的を十分に理解し、適切な実験・評価方法を用いて積極的に研究に取り組み、その成果についてまとめ、発表できることを目的とする。	1) 研究課題を適切に決定し、適切な実験・評価方法で研究を進めることができる。 2) 研究課題をまとめて、修士論文として成果を発表できる。	○	○		◎	◎	○	◎	◎
26MHBS2103	薬科学論文作成実験Ⅱ	2	文献調査および指導教員と相談の上決定した研究課題について、目的を十分に理解し、適切な実験・評価方法を用いて積極的に研究に取り組み、その成果についてまとめ、発表できることを目的とする。	1) 研究課題を適切に決定し、適切な実験・評価方法で研究を進めることができる。 2) 研究課題をまとめて、修士論文として成果を発表できる。	○	○		◎	◎	○	◎	◎
26MHBS1104	薬科学特別演習Ⅰ	1	学会発表、研究論文をもとに、研究課題を決定し、研究課題を完成するため、適切な実験・評価方法を応用して積極的に調査・実験に取り組み、その結果を分析し発表できることを目的とする。	1) 研究課題について教員と十分に情報交換をし、適切な実験とその結果に関する評価を行うことができる。 2) 基本的知識・技能・態度を修得し、研究課題について学会等で発表できる。	○	○	◎	◎	◎	○		○

